

災害協カシミュレーションゲーム

ダイレクトロード「海辺のマンション」

Prototype

阪神淡路大震災を機に、日本列島は地震の活動期に入ったと言われています。このゲームでは、あなたは周りにいる人たちと協力して行動します。地震直後の状況を疑似体験して被害への対処方法を修得するとともに、仲間とのコミュニケーション能力・人々を導くためのリーダーシップ・飛び交う情報を整理して被害への対処につなげる判断力を身につけましょう。

1 対象および人数

- | | |
|-----------|-----------------------|
| (1) 対象 | 中学2年生～70歳位までの方 |
| (2) 1グループ | 5人～7人（複数のグループで同時実施可能） |

2 必要なもの

- | | |
|------------------------|----------------|
| (1) ゲーム説明 | グループに1枚 |
| (2) 建物図面 | グループに1枚 |
| (3) 建物内の扉（二つ折りにする）（5枚） | グループに1セット |
| (4) 情報カード（28枚） | グループに1セット |
| (5) 筆記用具 | グループに鉛筆数本・消しゴム |
| (6) Looking back 用紙 | 人数分 |
| (7) 全体の進行役 | 1人 |
| (8) 周りにいる住民役 | グループが複数の場合、数人 |

3 実施方法

- 事前に各グループに「ゲーム説明」「建物図面」「建物内の扉」「情報カード」を配ります。
- 進行に沿って、メンバーに「情報カード」を裏向けで1枚ずつ全て配ります。
- 想定とルール説明後、ゲームを始めます。
- ゲーム終了後、振り返りとまとめを行いません。

4 所要時間 合計70分

- | | |
|--------------|-----|
| (1) 事前説明 | 10分 |
| (2) ゲーム | 45分 |
| (3) 振り返りとまとめ | 15分 |

5 想定状況

このマンションは、おだやかな海辺にある5階建ての建物です。現在、26世帯が暮らしており、1階には7つの店舗があります。皆さんは、このマンションの住民です。ある日の夕方、ついに巨大地震が発生しました。地震の揺れがようやく収まり、住民たちが1階のエントランスホールに集まってきています。建物内では、さまざまな問題が発生しています。今日は木曜日、時間は午後5時30分を過ぎたところです…。

6 ゲームクリア

住民の安否と被害状況を把握して、優先して対処すべき4つの事柄への対応方針を示すことができればゲームクリアです。

複数のグループで実施する場合は、ゲームクリアまでの時間を競います。

7 注意事項

このゲームの適用は、津波到達までに数十分程度の余裕がある地域です。

※このページは、実施時に掲示する必要はありません。

災害協カシミュレーションゲーム

ダイレクトロード「海辺のマンション」

1 想定状況

このマンションは、おだやかな海辺にある5階建ての建物です。現在、26世帯が暮らしており、1階には7つの店舗があります。

皆さんは、このマンションの住民です。ある日の夕方、巨大地震が発生しました。地震の揺れがようやく収まり、住民たちが1階のエントランスホールに集まってきました。建物内では、さまざまな問題が発生しています。

今日は木曜日、時刻は午後5時30分を過ぎたところです…。

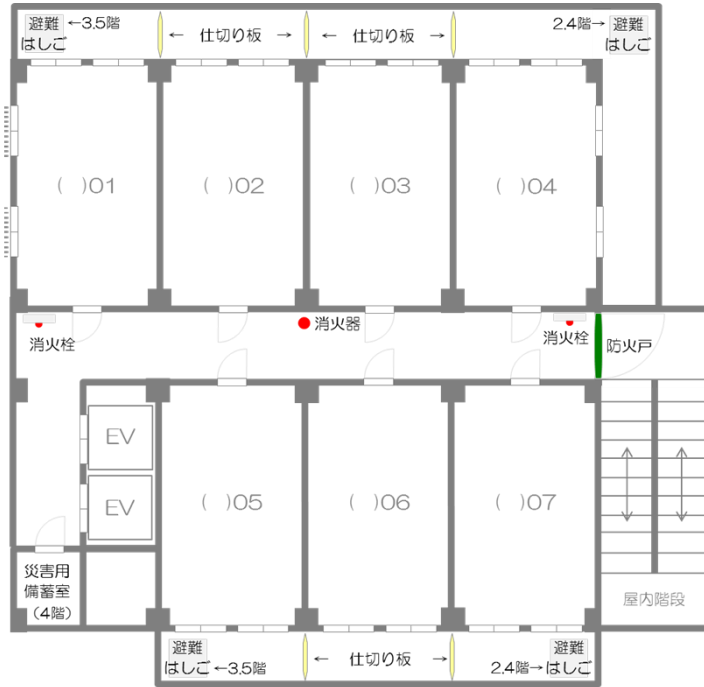
2 課題

- (1) それぞれが持ち寄った情報を基に、住民の安否と被害状況を整理して、優先して対処すべき4つの事柄を特定してください。
- (2) 建物内にあるさまざまな扉を開いて、特定した4つの活動方針を示してください。
(空欄部分に適切な語句を記入して、周りにいる住民(役)に渡してください)

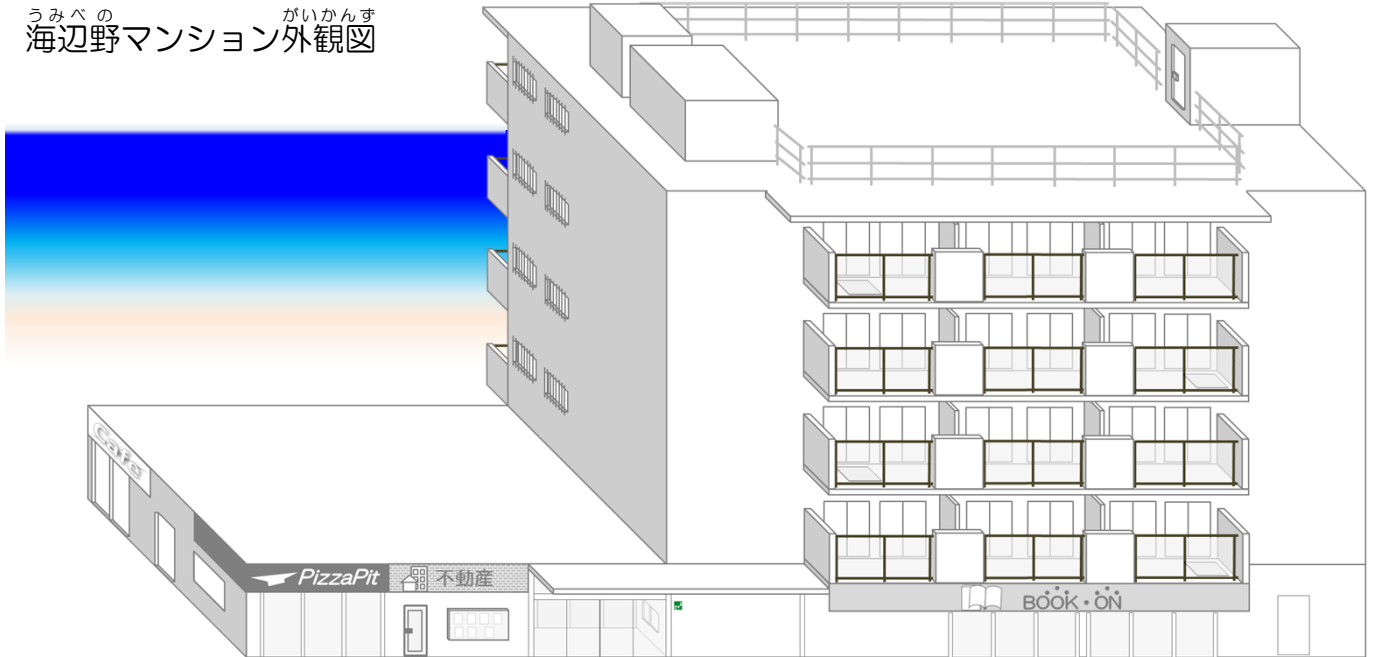
3 ルール

- (1) 自分のカードを他の人に見せてはいけません。すべて口頭で伝えあってください。
- (2) カギが掛かっている扉は、カギの在処が分かれば開けることができます。
- (3) 各世帯の一人でも安否が分かれば、家族全ての安否確認ができたものとします。
- (4) 制限時間は45分間です。

かいへいめんとす
2階～5階平面図



うみべの
海辺野マンション外観図



かいへいめんとす
1階平面図



進行役進行票（1 / 3） スタート前

10分間

内

容

近年、震度5弱以上の地震が全国各地で多発しています。1995年に阪神淡路大震災が発生したのを機に、日本列島は、地震の活動期に入ったと言われています。2011年には東日本大震災が発生し、近い将来には、南海トラフ地震が発生します。さらに、直下型の地震は、全国どこで発生してもおかしくありません。

ここにいる皆さんの多くは、人生のどこかで、大地震に遭遇する可能性があります。

これからおこなうダイレクトロード「海辺のマンション」は、マンションなどの集合住宅で巨大地震に遭遇した際の災害対応を疑似体験するゲームです。

地震の被害は、とても広い範囲に及び、しかも、多くの災害が同時に発生するため、全ての災害現場に、すぐに消防車や救急車が駆けつけられるとは限りません。さまざまな被害に対処できるのは、そこに住んでいる人たちだけです…。

それではテーブルの上に置かれたカードを全て、裏向きのままシャッフルせずに、トランプを配るように皆さんに配ってください。自分に配られたカードは見ても構いません。

（カードを配り終えて少し経ったら↓）

ゲームの想定状況を読み上げますので、頭の中で思い浮かべながら聞いてください。

「このマンションは、おだやかな海辺にある5階建ての建物です。現在、26世帯が暮らしており、1階には7つの店舗があります。皆さんは、このマンションの住民です。ある日の夕方、巨大地震が発生しました。地震の揺れがようやく収まり、住民たちが1階のエントランスホールに集まってきました。建物内では、さまざまな問題が発生しています。今日は木曜日、時刻は午後5時30分を過ぎたところです…。」

課題です。これからおこなってもらうことです。まずは、それぞれが持ち寄った情報を基に、住民の安否と被害状況を整理して、優先して対処すべき4つの事柄を特定してください。そして、建物内にあるさまざまな扉を開いて、特定した4つの活動方針を示してください。例えば、「非常口」と書かれた扉を開けてみてください。

（全てのグループが開いたら↓）

それぞれの扉を開けると、皆さんがどのように対処するかを、会話形式で記入するようになっていきます。空欄になっている部分に適切な語句を記入できたら、周りにいる住民（役）に渡してください。**皆さんの役割は、優先して対処すべき4つの事柄を特定して、「このように対処しましょう！」と、皆さんのさらに周りにいる、他の住民たちに示すこと**です。4つの活動方針を示すことができればゲームクリアとなります。

それぞれに配られたカードは、あなただけが知っている情報です。自分が持っている情報と他の人が持っている情報を、うまく組み合わせることで、住民の安否や被害状況、そして対処方法が分かってきますので、それを基に活動方針を示してください。

ルールです。**ルール1**。自分のカードを他の人に見せてはいけません。カードに書かれてある情報は、全て口頭で、言葉にして伝え合ってください。**ルール2**。カギが掛かっている扉は、カギの在処が分かれば開けることができます。5つの扉のうち2つにカギが掛かっています。それ以外の扉は自由に開けて構いません。**ルール3**。各世帯の一人でも安否が分かれば、その家族全ての安否確認ができたものとしします。**ルール4**。制限時間は45分間です。

それではゲームを始めます。スムーズにゲームを進められるように、皆さんが最初に絶対に取り掛かる必要があることを、お伝えします。
(2ページに続く)

進行役進行票（2/3） ゲーム中

時間経過	内 容
スタート時	<p>「管理人室」と書かれた扉の絵を見てください。 このマンションでは、数ヶ月前に「災害時安否確認表」という一覧表を作成したところ。工夫したのは、最も安否確認がしづらい平日の昼間に在宅しているか否かを、予め申告してもらった点です。この一覧表があれば、安否情報を整理するのに役立つはずですが、一覧表は、管理人室の中にあります。管理人さんは勤務時間外で、管理人室にはカギが掛かっています。実は予備のカギを、皆さんのうちの誰かが持っていますが、本人は自分が持っていることに気づいていません。自分がカギを持っていることに気づいた人は、「私は〇〇号室に住んでいます。自分がカギを持っています！」と言って、「カギの在処」と書かれた所に「〇〇号室」と記入して、扉を開けてください。</p> <p>また、私は途中で時間経過を言いませんので、時間に関する情報を持っている人が、しっかり時間管理を行なってください。 では、スタート！</p>
5分経っても管理人室のカギの在処が分からなかったら	<p>「カギは、誰が預かると書いてありますか？」→「管理組合の役員」 →「カギは何に入っていますか？」→「小さな箱」→「小さな箱を持っているのは、何号室の人だと話していますか？」→「401号室」 →「災害備蓄室は、何階にありますか？」→「4階」→「皆さんの中で、401号室に住んでいる人は、誰ですか？」</p>
管理人室の扉を開け出したら	<ul style="list-style-type: none"> ・安否確認表には、分かった情報をどんどん書き入れてください。 ・一番上の欄は、号室、名前、家族の人数、平日昼間に在宅しているかが書かれています。 ・特記事項がある部屋には、その内容が書かれています。 ・赤、黄、青、緑と書かれた欄には、把握した安否情報から、該当するものに○を付けると、優先順位を考える上で見やすくなります。 ・平日昼間の在室情報は、完全にその通りとは限りません。
適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・カギがかかっていないドアは、自由に開いてかまいません。 ・1階各店舗の安否情報も確認してください。 ・2階から5階までは、同じ造りですが、バルコニーにある避難はしごは、階によって場所が違います。 ・カードの中に登場する人物たちは、元気に活動してくれていますね。 ・最も優先しなければならないのは、何への対応ですか？
45分経過後 『ゲーム終了』	<p>（笛などを吹いて終了の合図） 活動限界です。これ以上は危険です。一旦全ての活動を止めて、全員が3階以上の階にいるか確認しましょう！ということで、ゲーム終了です。お疲れ様でした。 (3ページに続く)</p>

時間内にクリアしたグループには、3階以上の安否確認と対応を考えることを継続してもらう。それも終われば、情報カードをお互いに見せ合うように促す。

進行役進行票（3/3） ゲーム終了後

15分間

内

容

お疲れさまでした。他の人がどんなカードを持っていたのか、お互いに見せあってください。Looking back 用紙に記入をしながら、振り返りをおこなってください。

（2、3分経過したら）

まだ書き終わっていない人も、書きながら結構ですので聞いてください。

「大きな災害の直後は、情報が錯そうする」と言われます。情報を整理して状況を把握し、災害対応に繋げることが大切です。今回の想定状況で、最優先で対応すべきだったのは、数十分後に2階まで浸水する津波が到達する前に、1、2階の人たちを上階に避難させることと、その避難経路を確保するためにも、火災を消火することでした。

大災害時の対応について、マンションのような集合住宅には、特有の課題があります。

一つ目は、予め設置されているさまざまな消防用設備などを、そこに住んでいる人たちがきちんと使いこなせるかどうかです。せっかく設置されている設備の使い方が分からないのでは、宝の持ち腐れです。

二つ目は、いろいろな場所にカギが掛かっていることです。管理人さんが24時間常住しているマンションばかりではありません。管理会社の社員も、大災害直後では、すぐに駆けつけられるとは限りません。いざという時に大事な場所のカギを住民が開けられるようにしておく必要があります。

三つ目は、安否確認をするのが、簡単なようで難しいことです。玄関先のチャイムは、停電して鳴らなくなる可能性があります。そのため、ドアをドンドンと叩いて呼びかける必要があります。さらに大切なのは、必ずその呼びかけに答えることです。黙っていても、安否を確認できません。

四つ目は、エレベーターに閉じ込められる可能性です。住民がエレベーターの扉をこじ開けるには、相当な知識と事前の訓練が必要です。エレベーター閉じ込め救助訓練をおこなっているマンションもありますが、まずは、エレベーター内に、トイレと飲料水を備えた備蓄キットを設置しましょう。

五つ目に、マンションの場合は、避難所での生活ではなく、そのまま生活し続ける「在宅避難」という選択を取れる可能性があります。ですが、もしも建物内で起きた火災を消せない、それも難しくなります。火は、小さければ小さいほど、簡単に消火できます。早く見つけて、消火器で消せるくらいのうちに、消してしまうことが一番です。それができるのは、その場にいる人たちだけです。

最後に、海辺のマンションが地震と津波に襲われた日から、数日後に起こった出来事の話をして終わります。

「数日後、205号室の鈴木さんが、室内から遺体で発見されました。死因は溺死でした。鈴木さんは、日頃から誰とも交流を持たず、「災害時安否確認表」の事前調査にも回答していませんでした。鈴木さんは、助けを呼ばなかったのか、あえて呼ばなかったのか、今となっては分かりませんが、大災害の混乱の中で、日頃から周囲との関わりを絶ってしまっている人の存在に気づき、助け出すことができる可能性は、限りなく低いです…」

皆さんがお住まいのマンションでは、今日のような助け合いができそうですか？ 個人やマンション全体で準備すべきことは何でしょうか？ ダイレクトロードを体験した皆さんはきっと、行動に移してくれると信じています。

「協力の中に、人の命を繋げるダイレクトロードは開けます。」

これで、ダイレクトロード「海辺のマンション」を終わります。お疲れ様でした。

周りにいる住民役進行票

スタート前	<ul style="list-style-type: none"> 自分がグループの周りにいる住民役であることを告げる 活動方針が出来たら、自分に手渡すように言う
5分経っても 管理人室のカギの在処 が分からなかったら ヒントを出す	「カギは、誰が預かると書いていますか？」→「 管理組合の役員 」 →「カギは何に入っていますか？」→「 小さな箱 」→「箱を持っているのは、何号室の人ですか？」→「 401号室 」→「災害備蓄室は、何階にありますか？」→「 4階 」→「401号室に住んでいるのは誰ですか？」
災害時安否確認表	<ul style="list-style-type: none"> 分かった情報をどんどん書き入れていってください 号室、名前、家族の人数、昼間の在宅情報が書かれています 赤、黄、青、緑の欄は、該当するものに○をしてください 昼間の在宅情報は、完全にその通りとは限りません
適宜	<ul style="list-style-type: none"> 1階各店舗の安否情報も確認してください ベランダにある避難はしごは、階によって場所が違います カードの中に登場する人物は、元気そうでなによりです
活動方針の受け取りと質問の仕方	
活動方針を渡されたら	一旦受け取り、答え合わせをする
間違いがあれば…	間違っている個所を指摘して返却する 例「もっと急がないといけない人がいると思うんですけど」等
正解であれば…	以下のように質問し、説明できれば「 分かりました、やりましょう! 」と言って用紙をグループに返却する
災害備蓄室扉 やけど処置	「やけど部分の衣服は破って、直接水が当たるようにしたほうが効果的じゃないですか？」と質問する 模範返答 「衣服は破らずにそのまま水で冷やしてください」 (衣服を破ると、皮膚まで破れる恐れがあることを教える)
玄関ドア 仕切り板&避難はしご	「避難はしごの『押す』という所を押すと、どうなるんですか？」と質問する(カードに記述は無いので、推測で答えてもらう) 模範返答 「はしごが伸びて、下の階に降りられるようになります」
防火戸 背負い搬送	「どうして車イスに乗せたまま運ばないんですか？」と質問する 模範返答 「背負ったほうが安全だし、楽だからです」
消火栓扉 消火	「消火器を使ったほうが簡単じゃないんですか？」と質問する 模範返答 「もう炎が天井まで達していて、消火器では無理だから、消火栓を使います」
完成した活動方針はグループに返却する	
時間内に 全てクリアしたら	<ul style="list-style-type: none"> 3階以上の安否確認を続けてもらう 全ての安否確認が終わったら、情報カードをお互いに見せ合うように言う

進捗状況把握表

チーム「 **記入例** 」 ゲームクリア時間 (**41:00**)

	災害備蓄室扉 やけど処置	玄関扉 仕切り板&避難はしご	消火栓扉 消火	防火戸 背負い搬送
活動方針	○	○	○	○

チーム「 **記入例** 」 ゲームクリア時間 (**×**)

	災害備蓄室扉 やけど処置	玄関扉 仕切り板&避難はしご	消火栓扉 消火	防火戸 背負い搬送
活動方針	○		○	○

チーム「 」 ゲームクリア時間 ()

	災害備蓄室扉 やけど処置	玄関扉 仕切り板&避難はしご	消火栓扉 消火	防火戸 背負い搬送
活動方針				

チーム「 」 ゲームクリア時間 ()

	災害備蓄室扉 やけど処置	玄関扉 仕切り板&避難はしご	消火栓扉 消火	防火戸 背負い搬送
活動方針				

チーム「 」 ゲームクリア時間 ()

	災害備蓄室扉 やけど処置	玄関扉 仕切り板&避難はしご	消火栓扉 消火	防火戸 背負い搬送
活動方針				

チーム「 」 ゲームクリア時間 ()

	災害備蓄室扉 やけど処置	玄関扉 仕切り板&避難はしご	消火栓扉 消火	防火戸 背負い搬送
活動方針				

チーム「 」 ゲームクリア時間 ()

	災害備蓄室扉 やけど処置	玄関扉 仕切り板&避難はしご	消火栓扉 消火	防火戸 背負い搬送
活動方針				

